

教育委員会臨時会議事日程

令和6年1月26日(金) 午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

「はまっこ留学等体験事業」の実施報告について

令和5年度 横浜市教育センター研究発表会「『教育を科学』することで子どもの学びの質の向上を図る」協議会の開催報告について

3 審議案件

教委第47号議案 令和6年度歳入歳出予算案に関する意見の申出について

教委第48号議案 令和5年度一般会計予算案(2月補正)に関する意見の申出について

教委第49号議案 横浜市職員定数条例等の一部改正に関する意見の申出について

教委第50号議案 横浜市立小学校における草刈り作業中の物損事故に係る損害賠償額の決定に関する意見の申出について

教委第51号議案 令和5年度横浜優秀教員表彰に係る被表彰者の決定について

教委第52号議案 横浜市学校保健審議会臨時委員の任命について

4 報告案件

教委報第4号 教職員の人事に関する臨時代理報告について

5 その他

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 1/18 第67回横浜市学校保健大会
- 1/19 第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会において優勝された桐蔭学園高等学校ラグビー部の選手等による横浜市長表敬訪問
- 1/20 上菅田笹の丘小学校新校舎落成式
- 1/22 令和5年度 横浜市教育センター研究発表会
『教育を科学』することで子どもの学びの質の向上を図る』協議会

(2) 報告事項

- 「はまっこ留学等体験事業」の実施報告について
- 令和5年度 横浜市教育センター研究発表会『教育を科学』することで子どもの学びの質の向上を図る』協議会の開催報告について

3 その他

「はまっこ留学等体験事業」の実施報告について

教育委員会一般報告資料
令和6年1月26日
教育課程推進室

Yokohama English Quest (ヨコハマ イングリッシュ クエスト)

はまっこ留学

【開催日】

令和5年9月16日(土)

【開催場所】

象の鼻パーク付近等

【参加者】

市立中学校1年～3年生 82名

【内容】

- ・ ネイティブスピーカーとともに、チームとなり、英語で会話をしながら、チェックポイントを探して歩く、フィールド型国際交流。
- ・ チームでチェックポイントのクリア状況を競い、当日、表彰を行いました。

【開催日】

令和5年11月25日(土)～26日(日) 1泊2日

【参加者】

市立中学校1年～3年生 19名

【内容】

- ・ 横浜(日本)にしながら、留学体験
- ・ 横浜市内の海外にルーツをもち、日常的に家庭で英語を使用するホストファミリー宅でのホームステイ体験プログラム。
- ・ 体験中の会話は、原則「英語」のみで行いました。

令和5年度 横浜市教育センター研究発表会 『『教育を科学』することで子どもの学びの質の向上を図る』協議会 開催報告

『『教育を科学』することで子どもの学びの質の向上を図る』協議会は、これから本市が進めていく教育DXの具体的な方向性について、参加者とともに考えていく会として設定し、今年で2回目の開催となります。今年度は横浜市教育センター発表会として開催し、県内からもオンラインによる多数の参加がありました。

- 1 開催日 令和6年1月22日(月) 13:30~16:45
- 2 会場 関東学院大学 テンネー記念ホール
- 3 開催方法 集合及びオンラインのハイブリッド開催
- 4 参加対象者
 - ・本市の学校管理職又は担当教諭
 - ・市外の神奈川県教育研究所連盟参加者



東北大学大学院 堀田龍也教授の講演

5 参加者数

会場集合	367人(本市のみ)
オンライン	310人(本市247人+市外63人)

※市外からは、川崎市、相模原市、横須賀市、大和市ほか、ほぼ県内全域から参加

6 内容

◆事務局説明「子どもの姿で授業を語ろう」～横浜教育DXを通じた授業アップデートと学習支援システムの導入～

子どもの姿に着目しながら主体的・対話的で深い学びの観点からの授業のアップデートをする必要性やそのための方策について説明しました。また、IRT型学力・学習状況調査の分析結果から「学力」を大きく伸ばしている学校の特徴や、児童生徒一人ひとりの「学力」の変化が見られる「個人チャート」の活用例について説明しました。

◆学校の中で社会情動的コンピテンシーはどう育まれるか

横浜国立大学 准教授 鈴木 雅之 氏

南吉田小学校 校長 金子 正人 ほか

2年間の研究成果として社会情動的コンピテンシーと学力との間に相関が見られることや、社会情動的コンピテンシーを育むためには、学校での対面の協働的な学びが有効であることなどについて、研究実践校の取組をもとに報告しました。

◆これからの時代に必要な学びの変革と教育DX

東北大学大学院 教授 堀田 龍也 氏

これからの学校教育を考えるにあたっては、社会構造の変化をしっかりと捉える必要があり、子どもたちの学びには端末の活用が不可欠となることや、自ら目標をもち学びを進める力を育成することが求められていることなどについて、全国の具体的な事例を通してお話しいただきました。

参会者の感想

- ・教育DXの必要性は社会の変化に伴って必然となっていることがよく伝わりました。次期学習指導要領の実施までに、各教員の意識改革とスキルの習得に関して、積極的に取り組んでいかなければならないと改めて感じました。今後、この録画を本校の教員に見せ、そのきっかけとしたいと思います。
- ・ICTが学力向上につながるのではなく、ICTを豊かに活用する授業(教師の営み)が学力向上につながることを、心に留めたい。
- ・南吉田小学校の取組が素晴らしい。児童はもちろんのこと教員も達成感があるだろう。このような学校経営をしたい。同じ小中ブロックでこのような取組をしていかれるとよいと思う。
- ・授業でも学校行事でも子どもたちにどこまで委ねられるか、その時々授業で意識していく必要があることを感じました。時代が急速に変化している今、学校や教師は日々アップデートしていく必要があるように思いました。